

イーアスつくば

《取組事例》

分別の徹底

店舗ごとにバーコードを配布し、ごみ排出の際に読み込むことで、どの店舗がどれだけの量を排出したかが分かる、ごみの見える化を行っています。ごみ分別の品目を22に細分化し、正しく分別されていないものは返却、指導し、分別の徹底に努めています。



計量器を設置し、ごみ量の見える化



品目ごとに分けられたごみ置場

従業員への周知活動

店舗やスタッフの入れ替えが多く、ごみの適正排出の徹底に難しさを感じています。そこで分別の品目や品目ごとの具体的なごみの例示や排出場所などが細かく記載されているハンドブックを作成し、店舗ごとにスタッフへの周知をお願いしています。

生ごみの減量化

生ごみを水とCO₂に分解することができる、生ごみ処理機を導入しています。各店舗から排出される生ごみを処理しており、昨年度は152.3tもの生ごみを処理しました。これは処分量の約25%に相当します。これにより、ごみ処理費用の大幅なコストダウンが図れています。



各店舗が生ごみを入れるボックス